

敵の話に耳を傾けよう。  
とりわけ、  
賢い敵の言うことには。  
そして、どうやったら  
そいつらを  
笑わせられるか考えよう。

ジョン・ウォーターズ

『もめ事を起こせ』

Algonquin Books of Chapel Hill

「悪趣味の帝王」として「人民のヘンタイ」、映画監督ジョン・ウォーターズが、美術大学の卒業生に向けて語ったスピーチをまとめた本です。酷評されながら活動を続け、嫌悪されながらも創作をやめず、いつのまにか低俗観を転倒させるような作品を社会に送り込んできた人物だからその、胸のすく言葉が次々と飛び出せます。その中の1つがこれ。ユーモアは身を守る最善の術にして最強の武器。バカとつきあわないことだけを心がけながら、社会を「美しく擾乱」してやれと扇動します。ウォーターズの誕生日に。(8)

[John Waters, *Make Trouble*]

私ほど境遇の奴隷と呼ぶに  
ふさわしい者は、  
ほかにいないでしょう。  
いろいろな力に  
押しまくられ、  
最も抵抗の少ない方向に  
流されてきたのです。

小泉八雲

「ヘンリー・ワトキンへの手紙」／『日本の心』解説

速田康典／講談社学術文庫

1890年4月25日に書かれた手紙の一端です。小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、レフカダ島という地中海の小さな島の生まれです。アイルランド人のお父さんが島にやってきて、お母さんと恋に落ちたのです。でも、アイルランドに行ったお母さんは、慣れない土地で精神を病んで、ひとりで島に戻ってしまいます。お父さんも別の女性と結婚し、八雲は大叔母にひきとられます。でも、その大叔母が若い投資家に入れてあげて破算。17歳でスラム街をさまようことに。波瀾万丈の人生です。(8)

この世には、幸福もあり不幸もあり、ただ在るものは、一つの状態と他の状態との比較にすぎないということなのです。きわめて大きな不幸を経験したものののみ、きわめて大きな幸福を感じることができのです。

アレクサンドル・デュマ

『モンテ・クリスト伯』七

山内義雄訳／岩波文庫

無実の罪で投獄されたエドモン・ダンテスが14年後に脱獄し、モンテ・クリスト伯となって復讐を遂げていくというおなじみの物語です。この言葉は小説の最後の場面に登場するもので、これだけを取り上げるのはルール違反かもしれませんが、長大な作品は過程を楽しむためのものでもあると言えますので、あえて。すべてが終わった後、伯爵がわが子のように愛する若者、マクシミリアンに宛てた手紙です。この後に有名な「待て、しかして希望せよ」が出てきます。デュマの誕生日に。(5)

どうせ  
生きているからには、  
苦しいのは  
あたり前だと思え。

芥川龍之介

『仙人』

青空文庫

親友への手紙に「周囲は醜い。自己も醜い。そしてそれを目の当たりに見て生きているのは苦しい」と書いた数カ月後の大正4年7月23日に芥川龍之介はこの『仙人』を書きます。手紙の「生きているのは苦しい」がひっくり返って、「生きているからは、苦しいのはあたり前」になっています。ひっくり返っただけですが、こう言われると、ずいぶん救われる気がします。「ああ、生きているのは苦しいけど、生きているからには、苦しいのがあたり前なんだ」と、苦しさがいくらかやわらかく気がします。(6)

9 / 6

あすもまた、  
同じ日が来るのだろう。  
幸福は一生、来ないのだ。  
それは、わかっている。  
けれども、きつと来る、  
あすは来る、と信じて  
寝るのがいいのでしょうか。

太宰治

『女生徒』

青空文庫

1938年9月に19歳の女性読者から送られた日記を題材にして、14歳の女生徒が朝起きてから夜寝るまでの一日の心の動きを描いた小説です。「幸福は一生、来ない」という絶望の言葉とも、「あすは来る」という希望の言葉ともとれますが、彼女は人生に何が起きるのを待っています。太宰治は『待つ』という短編でも、ある女性が、誰かが来るのを、それが誰なのか、人間なのかどうかさえわからず、待ちつづけている姿を描いています。人はみな、何かを待っているのかもしれません。(K)

9 / 9

夢見よ、  
夢と現実との  
区別を  
忘れてしまへ、

小熊秀雄

『決して淋しがるな』／『小熊秀雄詩集』

岩田文庫／岩波文庫

小熊秀雄は、詩以外にも短編小説、童話、評論、マンガ原作などさまざまな分野で作品を残しました。特に『火星探検』（大城のぼる絵）は、SFマンガの先駆的作品として手塚治虫にも影響を与えたとされます。しかしプロレタリア詩人会に参加し、戦争に向かっていく時代に逆らった小熊の生活は厳しく、この晩年の詩は、「たたかひの歌を／人間が聴いてみなくても失望するな」と自分を鼓舞する吐きのようです。小熊の誕生日に。(S)